

津山中央病院広報誌 「スマイル」

2024

N3F  
1704  
11001

Smile

新春号

ご自由におとりください



特集

緩和ケア病棟について

## 津山中央病院の役割

私ども「津山中央病院」は地域の中核病院として「高度医療の提供・急性期疾患の対応・充実した救急医療の提供」を果たす役割を担っております。この3つの使命は、地域の皆様のご要望とも言うことができ、当院はこれを実現すべく、日夜、研鑽に励んでおります。

また「地域医療支援病院」の認定を受け、緊急対応や高度な精密検査が必要な患者さんなど、地域の医療機関からの紹介があれば迅速に対応できる体制を整えています。

当院の近隣エリアには、回復期リハビリテーション病院やかかりつけ医として日常的な診療や健康管理を行う診療所など、それぞれの特長を活かした医療機関があります。地域内での機能分化を進め、適切な場所で患者さんに最良の医療を受けていただけるよう、地域の医療機関との密な連携に取り組んでいます。



津山中央病院

緊急対応や高度な精密検査・治療が必要な場合は当院へ



病状が安定したら  
かかりつけ医へ



かかりつけ医

## かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常の健康管理を行う近所のお医者さんです。あなたに気になる症状があればすぐに相談でき、万が一、専門的な検査・治療が必要となれば、当院を紹介していただくことができます。

# 新年明けましておめでとうございます



津山中央病院  
病院長

林 同輔

3年以上にわたり苦しめられてきた新型コロナウイルス感染症も、昨年5月より5類相当となり、皆さん方の生活にもようやく以前の日常を取り戻せつつあるのではないのでしょうか。我々医療従事者にとっても、一時期のストレスから少し解放された気分ですが、当然コロナウイルスが消えたわけではなく、引き続き感染対策に努めながら第2種感染症指定医療機関として県北の感染症診療を継続していく所存です。

当院は本来の使命である「お断りしない救急」と「最先端の医療の提供」を堅持するために、がん陽子線治療センター・新病棟・新手術室等、数々の設備投資・体制整備を行ってきました。がん診療にも力を入れてきましたが、昨年7月に長年の念願であった「緩和ケア病棟を」を開設することが出来ました。がん患者さんの苦痛を和らげ、その人の価値観を尊重し、その人らしく過ごせるように支援するための病棟です。

今年も当院の理念である「地域の皆さんに優しく寄り添います」を実現し、「県北医療の最後の砦」としての役割を果たすべく努力してまいりますので、引き続き皆様方のご支援を宜しく願いたします。

## 特集

# 緩和ケア病棟について

### ■ 医師の立場から

がんと共に長く生きる方は、治療の進歩によって増えていきます。しかし完治できない場合も多く、病気の進行に伴い様々な症状が出現します。より良い生活を送るためには、がんの治療や進行に伴う苦痛への対処はがんに對抗する治療と同様に大切なことです。



当院は昨年7月に緩和ケア病棟を開設しました。当院では入院で緩和ケアが必要な方に対して今までは一般の病棟で対処しておりましたが、患者様には急性期病院としてのあたたかさを感じながら日々を過ごしていただいていたのですが、今回の緩和ケア病棟開設によって、苦痛緩和により焦点をあてつつ穏やかな日々を過ごしていただける環境が整いました。



痛い・息がしんどいといった身体的苦痛や、不眠・憂うつなどの精神的な苦痛などに対して、必要に応じた薬を調整しながら、多職種で協力して薬以外の対処も行いながら、貴重な日々をより良く過ごせるように努めていきます。

### ■ 看護師の立場から

7月に緩和ケア病棟が開設され、約3ヶ月が経過しました。

全室個室となっており、ご自分のベッドで過ごしていただけるような環境が準備出来ました。患者さんからも「静かな環境でゆっくり過ごせる」などの声をいただいています。

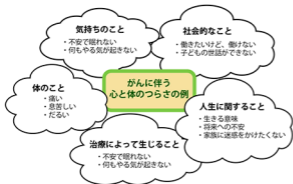


→  
全室個室  
(14床)で  
静かな  
療養環境



←  
共用のキッチン  
で家庭用の  
味でも楽し  
めます

緩和ケア病棟がどのようなところか、イメージがつかない方もいらっしゃるかもしれませんが、がんの治療を目的とした医療行為は行わず、痛みやその他の身体的な苦痛を和らげるために必要な処置やケアを行っています。身体的なつらさを和らげるだけでなく、精神的なつらさを



を軽減出来るような関わりも心がけています。

また、退院を希望される場合には、患者さんやご家族のご希望をお聞きしながら、医師、薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど多職種で相談し、住み慣れた環境で安心して過ごせるように支援します。

**緩和ケアの対応する  
多職種チーム**

**心理士**

つらい気持ちを軽減し、心のつらさを和らげます

**リハビリセラピスト**

無理のない動きや生活の工夫をアドバイスします

**看護師**

体や心のつらさを和らげ、生活を支えます

**管理栄養士**

食欲がないときなど、食事の工夫をアドバイスします

**薬剤師**

薬の副作用への不安を和らげ、飲み方などをアドバイスします

**社会福祉士**

経済的な問題や病院・病院に向けた不安に対応します

**医師**

がんの治療を行う担当の医師や、体のつらさの緩和を専門とする医師、心のつらさの緩和を専門とする医師が対応します



緩和ケア病棟に関わるスタッフ

新しくできたばかりの病棟ではありますが、患者さんとの関わりを大切に、病棟としての役割を果たしていきたいと思えます。そして、一人一人の患者さんの苦痛が少しでも和らぎ、その人らしく過ごすためのお手伝いをさせていただきたいと思っています

## 津山中央訪問看護ステーション

「病気や障害があっても住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方は多いと思います。しかし、ご本人やご家族の不安も多いのが、現状です。私たち訪問看護ステーションは、赤ちゃんから高齢者の方々、すべての年代の方に津山中央病院だけでなく、地域の様々な医療機関の医師の指示の下、お宅に訪問し必要な看護を提供しています。

病状の観察、悪化の予防、点滴など医療処置、服薬管理、リハビリテーション、本人、家族への精神的サポートなど、病院で行っている看護を継続して提供します。

重い障害を持つ医療的ケアの必要な小児の訪問では、一緒に悩み、また成長と共に喜びながらマラソンの陪走者のように寄り添う看護を行います。また、病気によって入院を繰り返す方には、病気の悪化



予防や少しでも楽に自宅で過ごせる工夫を考えています。

そして、最期まで自分らしく自宅で暮らしたいと願う方には、必要な医療処置と共に苦痛の緩和や身体の保清、そしてご本人、ご家族の精神的サポートなどターミナルケアを行っています。いずれも地域の様々な職種との多職種連携でより良い支援に努めております。

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)、人生会議とも呼ばれますが、利用者さんの今後の人生において「自分らしく生きる」ための意思決定に看護師として寄り添い、多職種と共有し支援していくことも私たちの役割だと考えています。

訪問看護の利用については、受診している医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター市区町村の介護保険、障害福祉の担当窓口にご相談ください。



## AI問診をご利用ください



当院では患者さんの待ち時間の削減、混雑緩和、長時間の接触回避のため、AI問診システム(ユビー)を導入しています。

AI問診とはスマホ・タブレット・PCを使い、AI(人工知能)が患者さんへ問診を行うシステムのことです。この問診にお答えいただいた患者さんの症状などにあわせて、AIが最適な質問項目を判断してお伺いしていきます。

そのため、質問が固定化された従来の紙での問診よりもさらに詳しい問診を行うことができます。他にも人には言いにくいナイーブな疾患(泌尿器科や婦人科など)もタブレットだと伝えやすい、言い忘れや伝え漏れが減ることで医師の診察内容をより充実させることができます。などのメリットがあります。

ご利用を希望される方は、当院総合受付までご相談ください。



## だいこんのそぼろあん



管理栄養士  
栗原 彩

煮物には大根の中心部分がおすす  
め。冬の時期の大根は甘みがより増し  
てくるのが特徴です。春の七草のひとつ  
に「すずしろ」と数えられています。

しょうがの辛味と香り成分には、熱  
を冷まし、食欲を促し、消化を高め、  
風邪や咳にも効くと考えられています。

漢方ではしょうがを健胃、嘔吐、咳、  
むかつきなどの症状に用いられてい  
るようです。



### 《作り方》・(材料：2人前)

- ① 大根(250g)の皮をむき、2~3cmの幅に切る
- ② 鍋に水(300ml)と大根を入れ火にかけ、くしが通るまで茹でる
- ③ 豚ひき肉としょうゆ・みりん(各大さじ1.5)、酒(小さじ1)、砂糖(小さじ1)顆粒だし(5g)、しょうがチューブ(2cm)を加えて軽く混ぜ、弱火で煮る。
- ④ 片栗粉(小さじ2)と水(大さじ1)をよく混ぜて加え、とろみをつける。
- ⑤ うつわに大根を盛り、上からそぼろあんをかける。お好みでネギをのせて完成!



私たち津山慈風会は、  
地域の皆さんにやさしく寄り添います

一般財団法人津山慈風会

# 津山中央病院

〒708-0841 津山市川崎1756  
TEL.0868-21-8111 (代表) FAX.0868-21-8200  
<https://tch.or.jp/>



津山中央病院  
ホームページ



津山中央病院  
YouTube  
チャンネル



津山中央病院  
Instagram



津山中央病院  
Facebook